

洋光台サイエンスクラブにおける SDGs の取り組み Activities of SDGs at Yokodai Science Club

はまぎん こども宇宙科学館
HAMAGIN SPACE SCIENCE CENTER

Goal 3, 4, 6, 7, 11, 12, 14, 15

はまぎん こども宇宙科学館では、科学館のある横浜市磯子区洋光台地区の自治町内会「洋光台まちづくり協議会」と協働で、「洋光台サイエンスクラブ」を運営しています。2007年から始まったこの活動は、今年で12年目を迎えましたが、会員数・教室数は年々増加し、昨年度は会員数5,709名、開催教室数424回を記録しました。2018年度も7月現在まで会員数は6,000人を超え、教室数もプログラミング教室を加え年間900教室を目標に展開しています。

洋光台サイエンスクラブの教室の講師や指導スタッフは、科学館の職員やボランティアだけでなく、地域のNPO団体や企業、現役の理科教員や科学コミュニケーターの他、大学の学生団体、研究者など様々で、科学館職員だけでなく多くの皆様の協力のもと教室を開催しています。教室の内容は、実験や工作、自然観察、参加体験型のサイエンスショーなど多岐にわたります。このサイエンスクラブでの活動を、SDGsの17の目標に照らし合わせてみたところ、木の二酸化炭素吸収を調べる教室や、タワー型風力発電機を作る教室など多くの教室がその目標と合致しました。



今後は積極的に、達成できていない目標に関連する教室も開催して、科学館職員だけでなく、それに関わる外部の協力団体、そしてサイエンスクラブ会員とともに目標達成に向けて取り組んでいきたいと思ひます。